

地域文化倶楽部(仮称)の創設に向けた  
文化部活動の在り方に関する検討会議(第2回)

---

# 部活動で大切にしたいことはなにか？

## 地域とともにアクティブ・ラーニングを進める部活へ



2020年6月24日

妹尾 昌俊

教育研究家

合同会社ライフ&ワーク 代表

NPO法人まちと学校のみらい 理事

senoom879@gmail.com

<https://news.yahoo.co.jp/byline/senoomasatoshi/>

# 自己紹介 妹尾 昌俊

- 徳島県出身(いなかの公立小中高で育つ)、神奈川県逗子市在住。  
趣味は歴史もの(戦国うんちく、旅、ゲーム)、海でSUP
- 4人の子持ち(高校生～小学生)、育児・教育は日々修行中です。
- 学校づくり、学校マネジメントはライフワークのひとつ。
  - 前職の野村総合研究所では、学校評価や組織マネジメント、地域とともにある学校づくり(コミュニティスクール等)について全国調査。  
2016年7月から独立、“元気な学校づくり、地域づくりを伴走し広げる”をミッションに、教職員向け研修やコンサル、学校改善、業務改善支援などを行っています。  
2019年11月に法人化し、ライフ&ワークを設立。
- 中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員  
学校業務改善アドバイザー(文科省、埼玉県、横浜市、四日市市、宮崎県ほか)  
スポーツ庁・部活動ガイドライン検討会議委員  
文化庁・部活動ガイドライン検討会議委員  
岐阜市公教育検討会議委員 などを務めました。
- 著書に『学校をおもしろくする思考法』、『変わる学校、変わらない学校』、『こうすれば、学校は変わる!「忙しいのは当たり前」への挑戦』など多数。  
近著『教師崩壊』(PHP新書)。
- Yahoo!ニュース、教育新聞、教職研修などでも発信中!



# 学校の実状の一端 ある中学校の時間外勤務時間

- 参考に、岐阜市のある中学校のリアルデータ
- 平均値や80時間超の割合といったデータは参考になるが、個々人のデータも重要である。時間外が**100時間を超える人もザラ**。
  - 個々人の健康状態にとって、平均値等がどうであれ、意味はない。
- 忙しい人は、4月も6月も11月も、**連続して過重労働**の傾向が強い。
  - とりわけ、教頭職と主任層などが過酷。
- 常勤講師のなかにも過重労働は多い。授業準備や教員採用試験の勉強も必要ななか、このままでいいとは言えない。

データは、岐阜市公共検討会議での妹尾昌俊プレゼン資料(2020年1月28日)

■R1年度 岐阜市立小中学校 教職員の時間外在校時間(詳細データ)

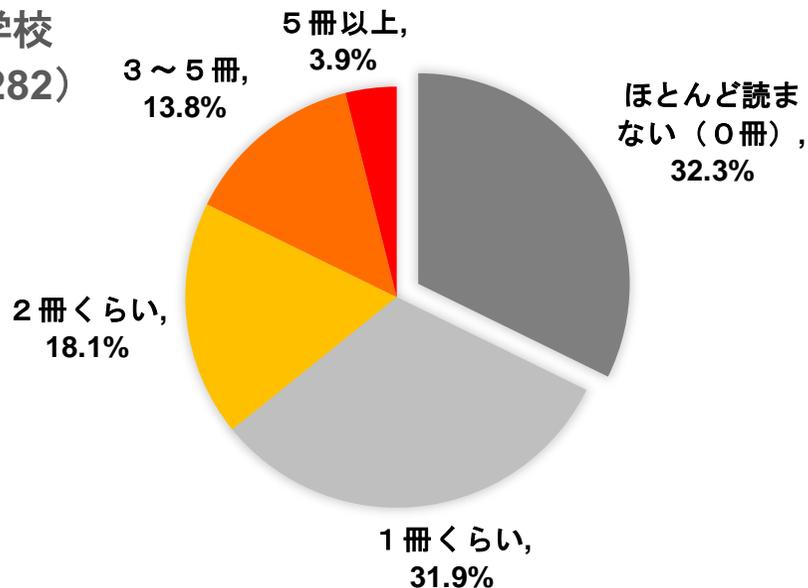
※タイムカードによる集計。時間外の休憩時間控除なし。非常勤講師含まず。休日含む。

▼岐阜市立C中学校

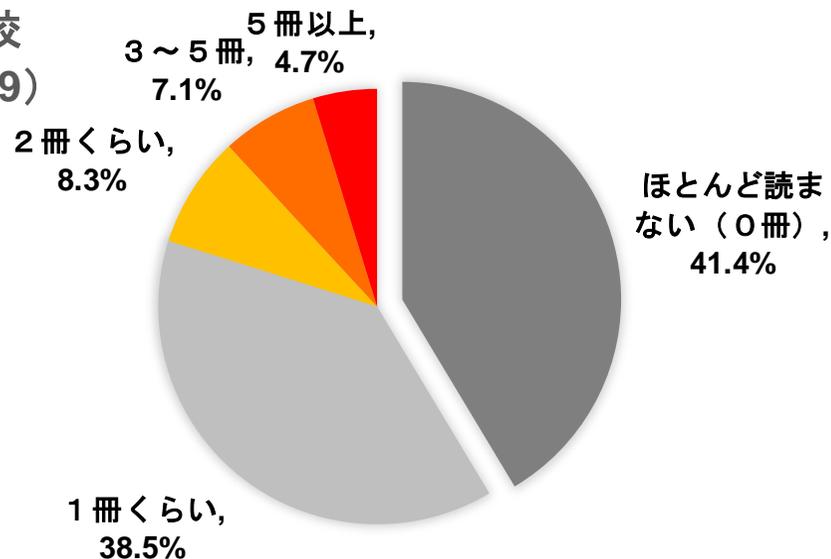
職	分掌	担任	部活	4月(時間)	6月(時間)	11月(時間)	月平均(時間)
校長	学校管理運営			44.46	47.55	49.46	47.16
教頭	総括補佐			130.38	131.21	129.16	130.25
教頭	総括補佐			113.34	91.18	83.42	95.98
教員	常勤講師	○	○	71.06	61.18	71.52	67.92
教員	常勤講師・拠点校指導			7.13		0.00	3.57
教員		○	○	130.34	137.41	127.18	131.64
教員	部活動主任	○	○	106.13	103.41	56.49	88.68
教員			○	45.44	45.51	49.25	46.73
教員	教務主任		○	108.20	101.57	119.59	109.79
教員	進路担当		○	105.04	98.50	107.48	103.67
教員	学年主任		○	106.05	90.40	71.12	89.19
教員			○	55.56	64.20	62.09	60.62
教員	養護教諭			114.45	120.16	79.12	104.58
教員	学年主任		○	101.14	96.53	75.20	90.96
教員	道徳主任	○	○	92.48	65.44	83.22	80.38
教員		○	○	84.39	79.52	88.38	84.10
教員	学年副主任	○	○	83.09	87.01	83.09	84.40
教員	学年副主任	○	○	99.33	91.23	73.31	87.96
教員	特別支援コーディネータ	○		29.58	24.27	27.29	27.05
教員	特活指導部長	○	○	91.07	73.28	73.56	79.30
教員	ブロック担当生徒指導主事		○	81.27	94.19	49.30	74.92
教員		○	○	67.22	112.14	83.36	87.57
教員	生徒指導		○	86.37	79.40	47.56	71.11
教員		○	○	51.13	47.22	44.45	47.60
教員	学年主任		○	104.33	74.16	66.10	81.53
教員			○	24.43	30.42	14.34	23.06
教員	生活指導部長	○	○	96.01	114.24	118.59	109.61
教員	給食主任	○	○	40.32	54.11	40.54	44.99
教員	研究推進委員長・学習指導	○	○	94.14	100.58	77.34	90.69
教員		○	○	95.28	93.04	138.47	108.93
教員	人権教育担当	○	○	101.26	103.52	93.40	99.39
教員		○	○	101.11	98.43	79.58	93.04
教員	ALT担当	○	○	109.40	123.25	85.12	105.92
教員		○	○	101.22	105.18	66.16	90.85
教員		○	○	50.04	28.41	21.03	33.16
教員	常勤講師	○	○	115.46	122.40	120.39	119.42
教員	常勤講師	○	○	116.23	92.15	67.52	91.97
教員	常勤講師・校務主任	○	○	26.08	32.04	16.34	24.82
事務職員	事務職員			7.13	4.25	5.07	5.48
月平均時間外在校時間(時間)				81.72	82.07	70.37	77.38

**1カ月の読書量 ※漫画、小説などは除く**  
**約3～4割の先生が、1冊も本を読まない。**  
**二極化現象も。**

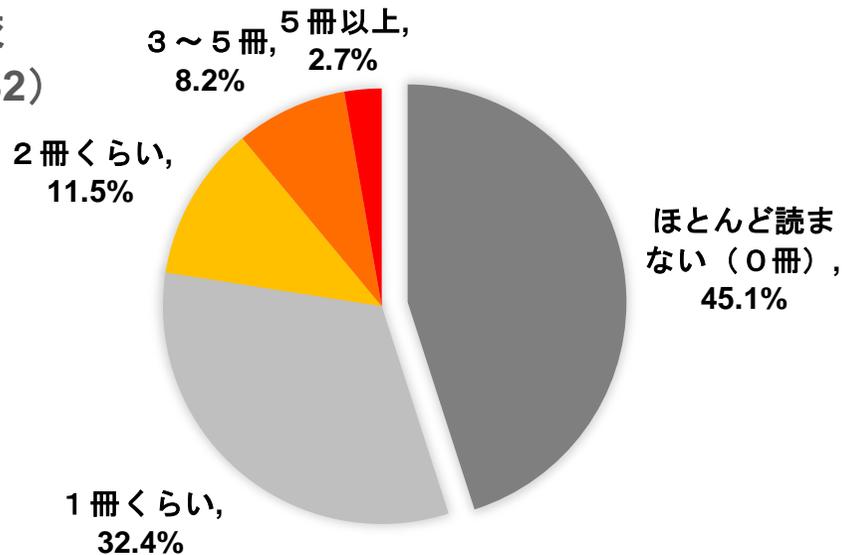
小学校  
(N=282)



中学校  
(N=169)



高校  
(N=182)



注)対象は教員のみ。

出所)妹尾昌俊『教師崩壊』、「教職員の学びと勤務についての調査」(2019年12月～20年1月実施)

## 認識合わせしたいこと

- 日本の小・中・高校の教員のかなりの多くは、過重労働だ。
  - 背景には、さまざまな要因があるが、そのひとつは、**教員の役割が多岐にわたっていること(マルチタスク)**。「子どものため」という、いわば殺し文句のもとで教育行政も学校も、**ビルド&ビルド**で仕事を増やしてきた。
  - 新型コロナの影響で、教員の負担増は、ますます深刻化しつつある。  
(消毒作業、トイレ清掃、たくさんの報告書類など + 土曜授業増、夏休み短縮)
- 教員の健康は、たいへん心配。加えて、**授業の質を上げることや自己研鑽が犠牲になっていることが問題**。
  - たとえば・・・音楽教師で吹奏楽部顧問が、国内外を旅して、視野を広げる時間的ゆとりがあるだろうか？
- ただし、部活動のあり方は、教員の視点だけで決めていくものではない。**子ども目線で考えていく必要があるし、生徒の参画も重要**。

# わたしが研修・講演でよく問いかけていること

## 部活動はなんのため？

- ① そもそも、部活動は**何のため**のものでしょうか？  
主たるねらいは何ですか？
  
- ② 部活動に入っていない生徒については、どうしますか？
  
- ③ 部活動に大きな意義、効果があるとしても、いまの時間、負担でいいのでしょうか？
  - ★教員の負担や24時間をどう使うかという視点から、どうですか？
  - ★生徒の負担や24時間をどう使うかという視点から、どうですか？

友添秀則(2016)『運動部活動の理論と実践』より

(戦後に対外大会の厳格な規制がとられたが、東京五輪前後に規制が緩められてきた過程は)

「競技」と「教育」という対立する論理の葛藤の歴史でもある。そして、**競技の論理が教育の論理を押し切ってきた過程**でもある。

問い 部活動指導のなかで、これは「競技の論理」が強かったかもな、と思うことはありますか？

## 競技の論理

- ✓ 大会、コンクール等で**勝つ**(入賞する)こと。
- ✓ 「**長く練習しなければ強くなれない**」と信じている人が多い。
- ✓ ただし、プロや専門家のなかには短時間で集中した練習を勧める見解も多い。
- ✓ 監督や指導者の言いなりに、**従わせようとする“指導”**も見られる(全部がそうではないが)。
- ✓ 技術的な指導ができること。  
顧問ができない場合は、外部指導者等を雇う。

### 主要な 目的と目標

### 活動時間

### 生徒の自主性、 主体性

### 指導者の役割

## 教育の論理

- ✓ 生徒の**人間性や社会性が育つ**こと(挑戦すること、やり抜く力、チームワークなど)。
- ✓ スポーツや文化、科学に**親しむ**こと。  
あわよくば、好きになって生涯にわたり楽しむこと。
- ✓ 長時間練習する必要性は高くない。
- ✓ 生徒の身体の発達状況等に応じた適度な練習量におさえる必要がある(けが、故障の防止)。
- ✓ 練習メニューの企画、試合の戦術などで生徒の**自主性を伸ばす**ことを重視する。
- ✓ 技術的指導はできたほうがベターだが、必須ではない。
- ✓ 見守り(安全管理)、多少の励ましなどができればよい。

**参考) デイビッド・エプスタイン (著) 東方雅美 (翻訳)  
『RANGE(レンジ) 知識の「幅」が最強の武器になる』**

- (1991年の論文だが、イギリスのある寄宿音楽学校への調査)  
正味の練習量や練習時間が、優秀さを示す適切なバロメーターにならない。  
Slobada and Howe, “Biographical Precursors of Musical Excellence”
- (別の最近の研究では) 難関の音楽学校に入学を認められた若い音楽家と、同様に熱心に音楽に取り組んではいるがスキルの劣る学生とを比較した。その結果、よりスキルの高い学生はそうではない学生と比べて、少なくとも三つの楽器を演奏する割合はるかに高かった。また、半分以上が四つか五つの楽器を操った。  
A. Ivaldi, “Routes to Adolescent Musical Expertise”



令和元年7月

東京都教育委員会

## 参考)

# 東京都教育委員会 部活動に関する総合的なガイドライン

■部活動も学校教育活動の一環であることから、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現する視点が求められる(中教審答申)

■各部活動とも、顧問は、日々の活動の中での学びをはじめ、大会・発表会等の前後には、定期的にミーティングを行うなどして、生徒同士で、具体的な目標、活動の成果と課題、課題の解決策、今後の活動の重点等について話し合わせるなど、**「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて取り組んでいくことが重要**である。

(東京都教育委員会 部活動に関する総合的なガイドライン)

## 2 部活動運営上の留意事項

### (1) 生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現

文部科学省は、平成28年12月、中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」において、部活動の中で生徒が「どのように学ぶか」について、次のように示した。

部活動も学校教育活動の一環であることから、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現する視点が求められることを明確にする。これにより、部活動と教育課程との関連がより一層明確になると考えられる。

また、「主体的・対話的で深い学び」について、次のように示した。

【主体的な学び】 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる学び。

【対話的な学び】 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める学び。

【深い学び】 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学び。

各部活動とも、顧問は、日々の活動の中での学びをはじめ、大会・発表会等の前後には、定期的にミーティングを行うなどして、生徒同士で、具体的な目標、活動の成果と課題、課題の解決策、今後の活動の重点等について話し合わせるなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて取り組んでいくことが重要である。

### (2) 「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方との関連付け

## 参考)

### 札幌市立学校に係る部活動の方針(2019年3月)

学ぶ力を育成するためには、部活動においても「課題探究的な学習」を取り入れることが効果的である。例えば、スポーツ活動では「どうすれば、もっと競技力を高められるだろうか」、音楽活動では「どうすれば、もっとイメージが伝わる表現ができるだろうか」といった課題を生徒自らがもち、「足りない技能を高める新たな練習方法を取り入れてみたらどうだろうか」「仲間とイメージを共有するために、各自がもっているイメージを言葉で伝えあってみたらどうか」など、課題の解決に向けた追究を生徒が自ら行うなどのことが考えられる。

指導者は、「生徒に考えさせる場面」と「教える場面」のバランスのとれた活動を心掛けるとともに、生徒が自ら課題を発見し、主体的に解決を図るプロセスの中で、必要な知識や技能等を身に付け、力を伸ばすことができるよう、生徒が自分で決めることを促し、伸びを認め、取組を支えるように関わることが大切である。

# コロナ禍でよく見えてきたこと

## コロナ前からの問題がより顕在化(見える化)してきた！

1. **学校は、勉強する場だけではない。**
  - ・教育的な機能・役割
  - ・福祉的な機能・役割（保護）
  - ・関係をつくる機能・役割（交流・つながりを通じた楽しさと成長）
2. **日本の教育は、自律的な学習者を育ててきただろうか？**
  - ・ある校長経験者の言葉 「自分で時間割をつくる力」
  - ・大量の宿題をわたしきり、与えるばかりの学校も？
3. **圧倒的なコミュニケーション不足とソーシャル・ディスタンス**  
(学校と子ども・保護者のあいだ / 学校と地域とのあいだ、  
教職員のなか / 教育委員会または法人本部と教職員のあいだ)  
⇒ **相互不信**が強まっている？ **学校自前主義**に？

## 変化を恐れず教育を前進させ続け、 人生を築くデザイン力を育む

熊本県 宇城市教育委員会 教育長 平岡 和徳

熊本県宇城市は、2019年7月、ベネッセと包括連携協定を結び、ICT教育や英語教育等の充実を図っています。高校サッカー界の名将として活躍しながら教育行政に身を投じた平岡和徳教育長に、故郷の人づくりに懸ける思いを聞きました。

〇らおか・かずのり 精進の熊本県立大津高校教諭時代は、サッカー部を全国大会の常連校に育て、約50人のプロサッカー選手を輩出。2017年度から現職。

## 宇城市 平岡和徳教育長の言葉 VIEW21教育委員会版 2019 vol3

- （引用者注：サッカー一部の指導で大切にしてきたのは）**24時間をデザインする力を生徒に育む**ことです。まず、**部活動の練習時間は1日100分間**とし、居残り練習を禁止しました。限られた時間内で何をすべきか生徒が自ら考え、行動できるようにすることがねらいです。さらに、食事や睡眠のための時間や、学習したり家族と過ごしたりする時間を確保する目的もありました。（中略）

そうした練習を積み重ねていけば、普段の生活でも自分なりの目標を持ち、達成に向けて時間の使い方を考え、諦めずに努力するようになります。それは、**人生を築く力そのもの**です。そうした力を本市の子どもたちにも育みたいという思いが、様々な施策の根幹にあります。

## 部活動でも、大切にしたい視点

(中央教育審議会「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について(答申)」平成27年12月21日)

学校という場において子供が成長していく上で、教員に加えて、多様な価値観や経験を持った大人と接したり、議論したりすることは、より厚みのある経験を積むことができ、本当の意味での「生きる力」を定着させることにつながる。

そのためにも、「チームとしての学校」が求められている。